

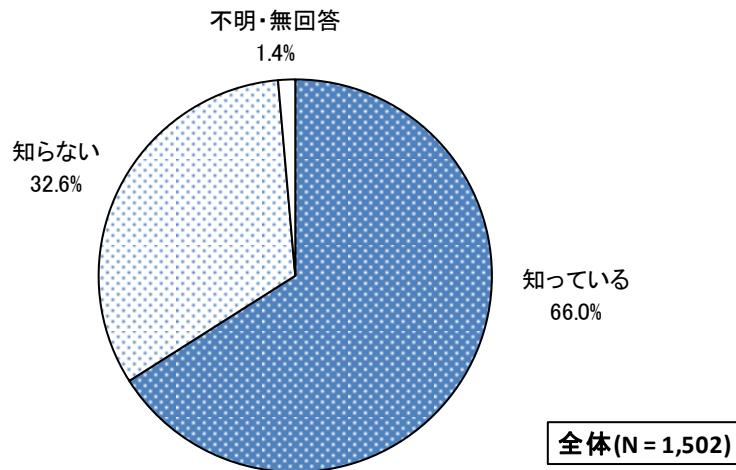
13. 部落差別・同和問題について

【問 26】あなたは、日本の社会に「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」「部落差別」「部落問題」と言われる問題があることを知っていますか。(〇は1つ)

■全体

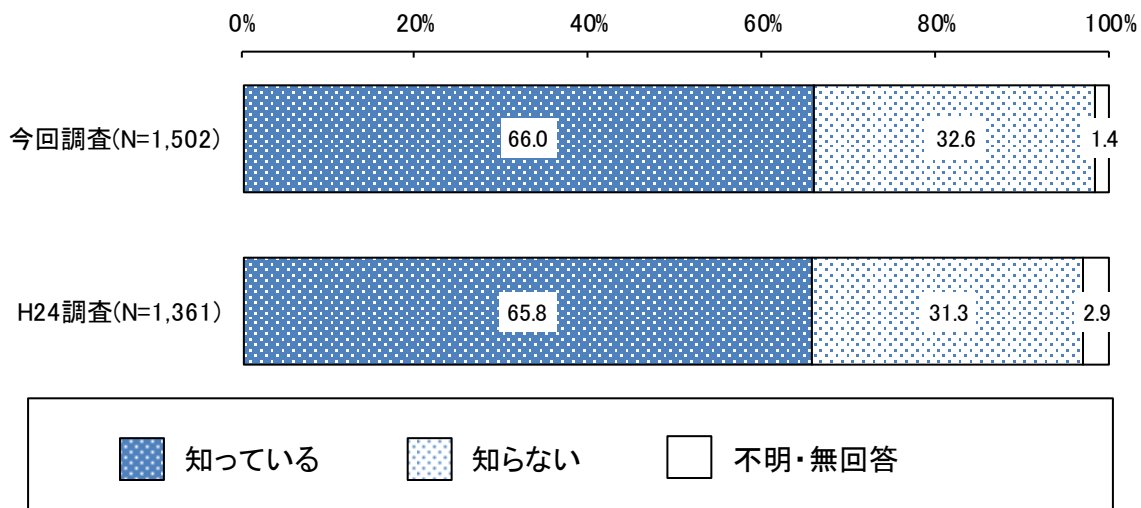
「同和問題」「部落差別」「部落問題」を知っているかについては、「知っている」が66.0%、「知らない」が32.6%となっている。

<単一回答>



■経年比較

H24 調査と比較すると、大きな変化はみられない。



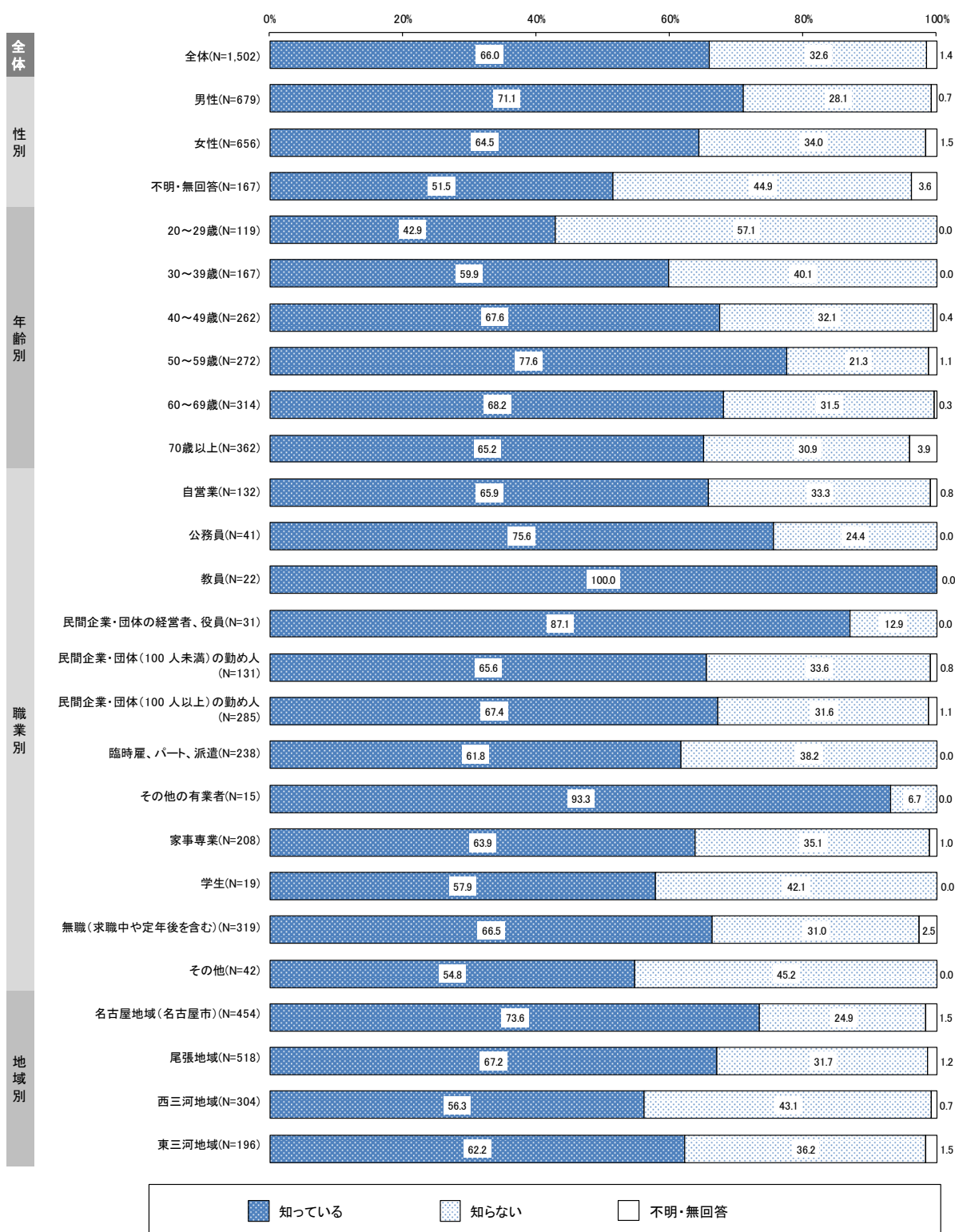
■基本属性別

「同和問題」、「部落差別」、「部落問題」を「知っている」と回答した人について、性別では「男性」が「女性」に比べ6.6ポイント高くなっている。

年齢別では、「20～29歳」で42.9%と低くなっている。

職業別では、「教員」が100%となったほか、「その他の有業者」、「民間企業・団体の経営者、役員」でも9割前後と高くなっている。

地域別では、「名古屋地域（名古屋市）」で73.6%と高くなっている。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

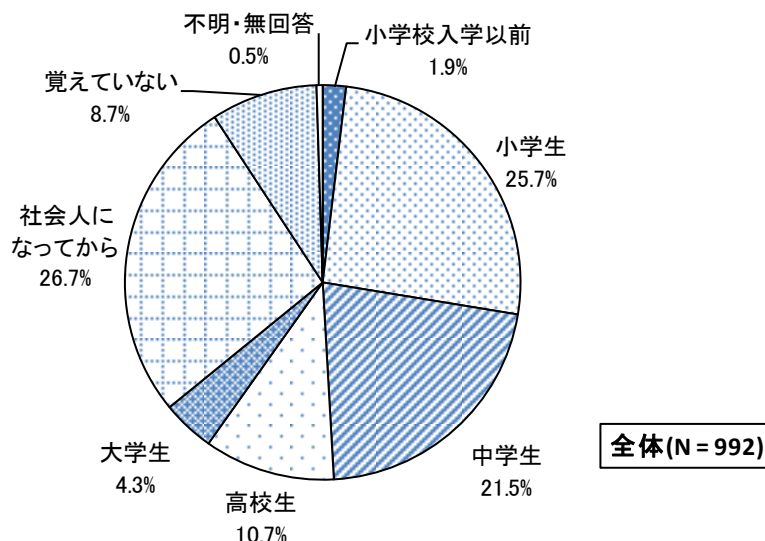
問26で「1. 知っている」と回答した人への設問

【問 27】あなたが、同和地区や同和问题(部落差別)について、はじめて知ったのは、いつ頃ですか。(〇は1つ)

■全体

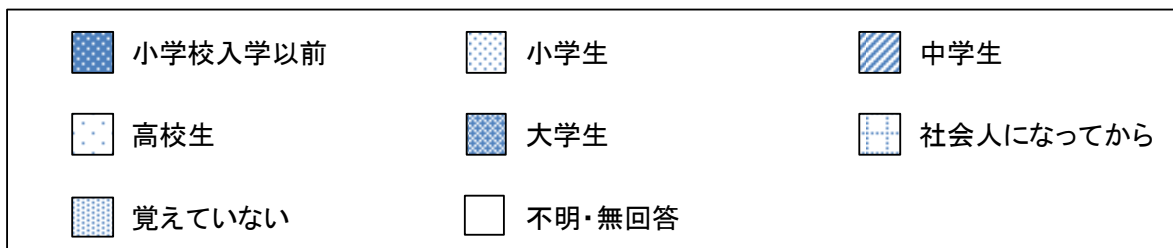
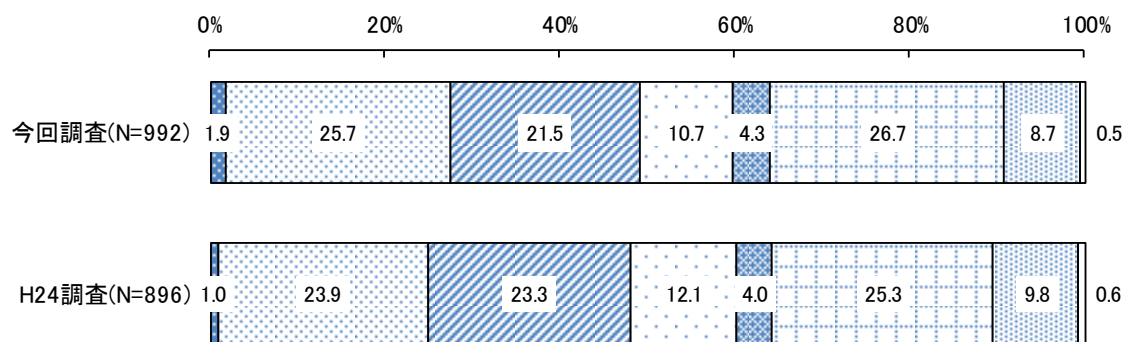
同和地区や同和问题を知った時期については、「社会人になってから」が26.7%と最も高く、次いで「小学生」が25.7%、「中学生」が21.5%となっている。

<単一回答>



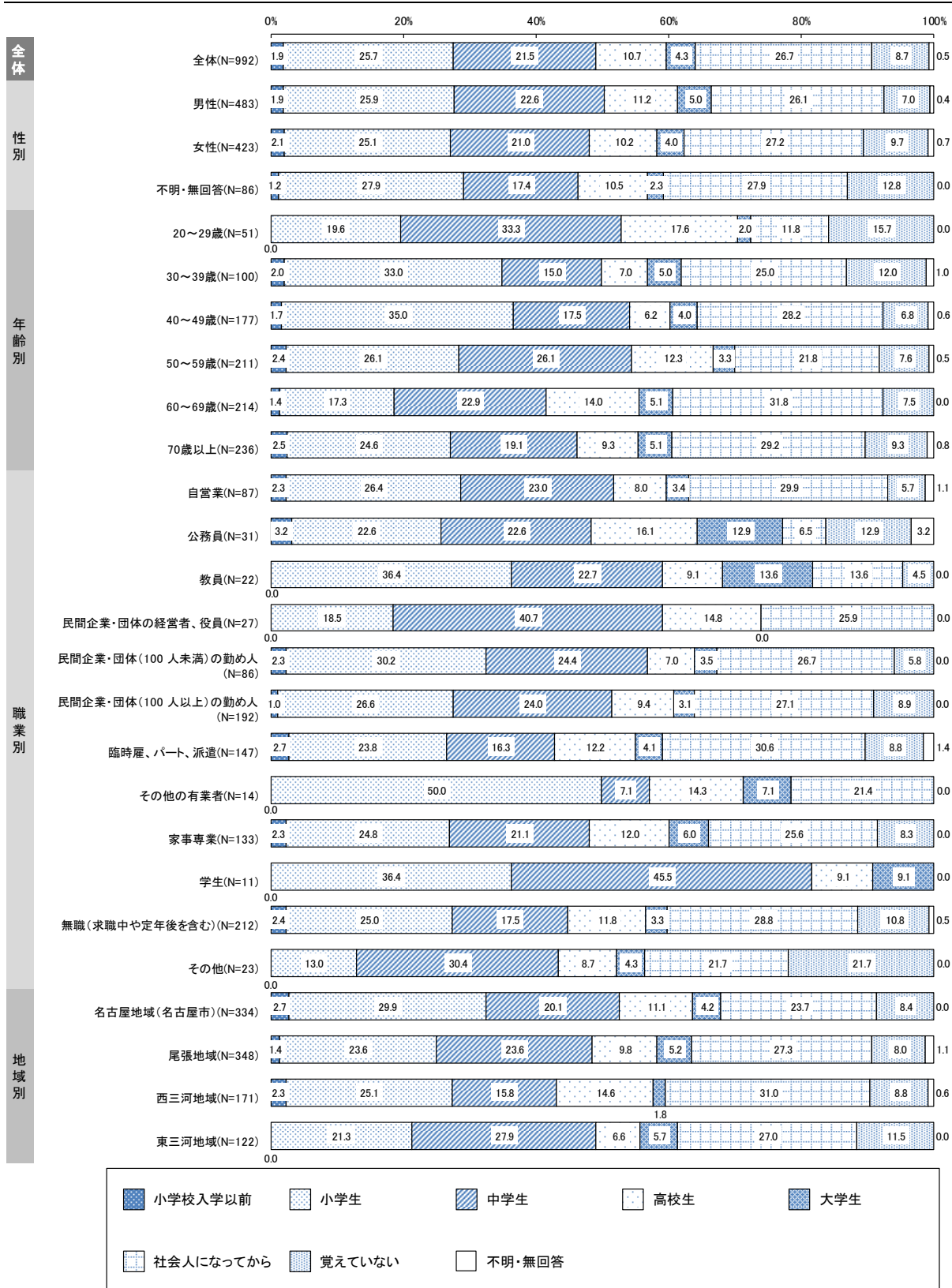
■経年比較

H24調査と比較すると、大きな変化はみられない。



■基本属性別

年齢別では、50歳代以下で「中学生」までにはじめて知った人が、半数以上となっている。
地域別では、「西三河地域」で「社会人になってから」が比較的高くなっている。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

問26で「1. 知っている」と回答した人への設問

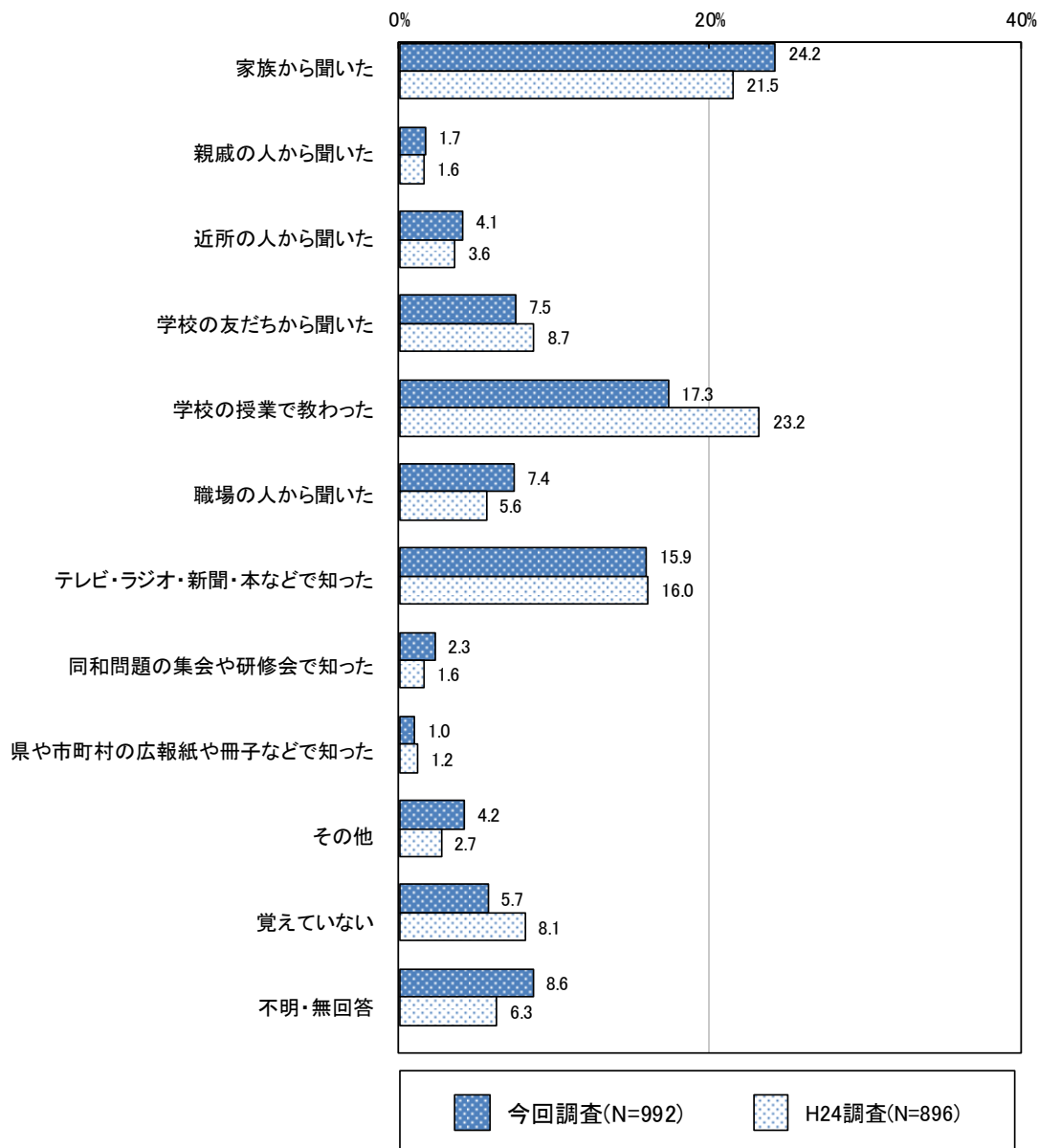
【問28】あなたが、同和地区や同和问题(部落差別)について、はじめて知ったきっかけは、何からですか。(〇は1つ)

■全体と経年比較

同和地区や同和问题を知ったきっかけについては、「家族から聞いた」が24.2%と最も高く、次いで「学校の授業で教わった」が17.3%、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が15.9%となっている。

H24調査と比較すると、「家族から聞いた」は2.7ポイント増となっている。一方、「学校の授業で教わった」は5.9ポイント減となっている。

<単一回答>



■基本属性別

性別では、「家族から聞いた」が「女性」が「男性」に比べ9.8ポイント高くなっている。

年齢別では、40歳代以下で「学校の授業で教わった」が、50歳代以上で「家族から聞いた」がそれぞれ最も高くなっている。

(単位:%)

		回答者数	家族から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	学校の友だちから聞いた	学校の授業で教わった	職場の人から聞いた	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	同和問題の集会や研修会で知った	県や市町村の広報紙や冊子などで知った	その他	覚えていない	不明・無回答
全体		992	24.2	1.7	4.1	7.5	17.3	7.4	15.9	2.3	1.0	4.2	5.7	8.6
性別	男性	483	20.5	1.7	5.0	10.6	14.5	8.3	17.4	2.5	1.2	4.8	4.3	9.3
	女性	423	30.3	1.4	2.6	4.3	19.1	5.9	15.4	2.4	0.7	3.8	5.7	8.5
	不明・無回答	86	15.1	3.5	7.0	5.8	24.4	9.3	10.5	1.2	1.2	3.5	14.0	4.7
年齢別	20～29歳	51	19.6	3.9	2.0	5.9	31.4	3.9	15.7	0.0	0.0	2.0	7.8	7.8
	30～39歳	100	23.0	1.0	1.0	2.0	38.0	3.0	14.0	2.0	1.0	5.0	4.0	6.0
	40～49歳	177	23.2	3.4	1.1	4.5	28.8	9.0	10.7	1.7	0.0	4.0	5.1	8.5
	50～59歳	211	29.4	0.9	2.4	9.0	17.1	6.6	13.7	2.8	0.5	3.8	6.2	7.6
	60～69歳	214	25.2	0.0	3.7	9.8	7.9	8.4	24.3	3.7	1.9	4.7	3.3	7.0
	70歳以上	236	21.2	2.5	10.2	8.5	5.5	8.5	15.3	1.7	1.7	4.7	8.1	12.3
職業別	自営業	87	32.2	2.3	1.1	5.7	9.2	6.9	21.8	3.4	0.0	5.7	2.3	9.2
	公務員	31	19.4	0.0	3.2	3.2	35.5	0.0	22.6	0.0	0.0	3.2	9.7	3.2
	教員	22	27.3	0.0	0.0	4.5	36.4	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	4.5
	民間企業・団体の経営者、役員	27	18.5	0.0	3.7	14.8	22.2	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	3.7	18.5
	民間企業・団体(100人未満)の勤め人	86	29.1	2.3	4.7	11.6	16.3	9.3	16.3	1.2	0.0	3.5	1.2	4.7
	民間企業・団体(100人以上)の勤め人	192	19.8	1.6	1.6	7.8	27.6	6.8	12.5	2.6	0.5	4.7	6.8	7.8
	臨時雇、パート、派遣	147	26.5	0.0	4.1	6.1	19.0	8.8	11.6	2.7	2.0	4.1	7.5	7.5
	その他の有業者	14	7.1	0.0	7.1	7.1	35.7	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	家事専業	133	31.6	0.8	3.8	7.5	14.3	2.3	19.5	2.3	0.8	3.0	4.5	9.8
	学生	11	27.3	9.1	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
	無職(求職中や定年後を含む)	212	19.8	2.4	8.0	8.0	5.7	8.5	19.8	2.8	1.4	5.2	7.5	10.8
その他	23	21.7	13.0	8.7	4.3	4.3	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	
地域別	名古屋地域(名古屋市)	334	24.6	2.1	4.8	6.6	17.4	6.9	14.4	2.4	0.9	3.6	6.9	9.6
	尾張地域	348	23.6	1.4	3.4	7.8	19.3	6.9	16.7	1.7	1.1	4.0	5.7	8.3
	西三河地域	171	24.0	1.2	1.8	4.7	17.0	9.9	18.1	1.8	0.6	6.4	5.8	8.8
	東三河地域	122	23.8	2.5	7.4	12.3	13.1	5.7	14.8	4.1	1.6	4.1	3.3	7.4

※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

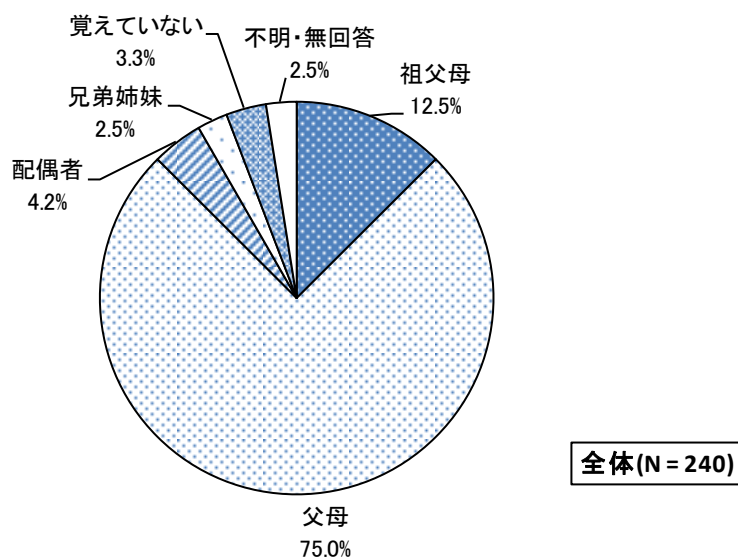
問28で「1. 家族から聞いた」と回答した人への設問

【問29】 家族のだれから聞きましたか。(〇は1つ)

■全体

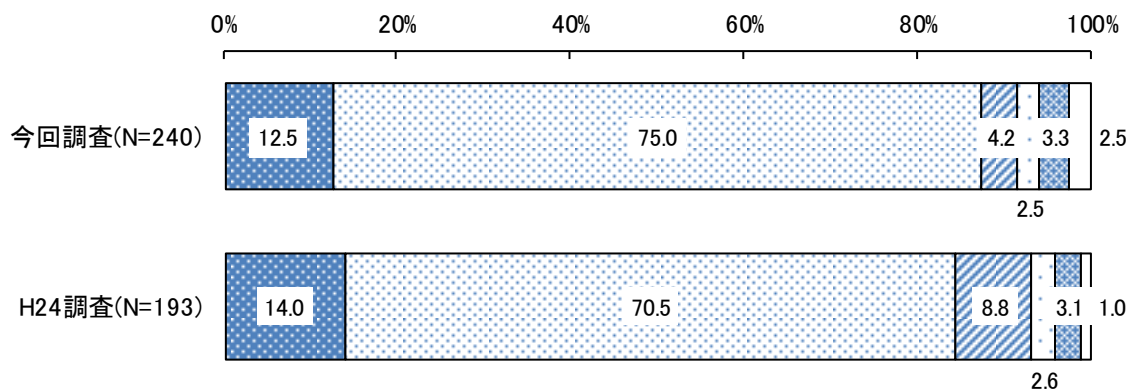
同和地区や同和問題を家族のだれから聞いたかについては、「父母」が75.0%と最も高く、次いで「祖父母」が12.5%、「配偶者」が4.2%となっている。

<単一回答>



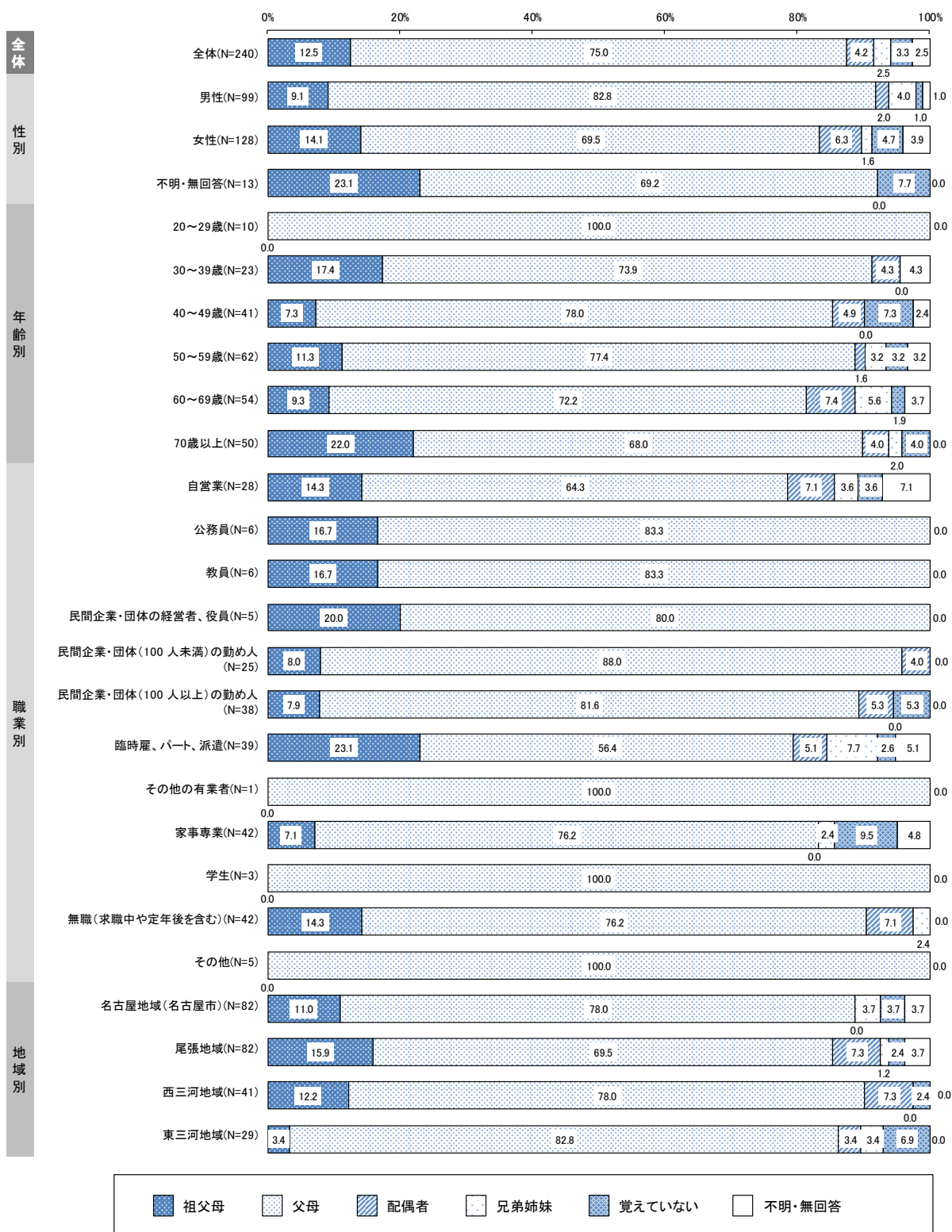
■経年比較

H24 調査と比較すると、「父母」は4.5ポイント増となっている。一方、「配偶者」は4.6ポイント減となっている。



■基本属性別

性別、年齢別、職業別、地域別いずれにおいても「父母」が最も高くなっている。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

問26で「1. 知っている」と回答した人への設問

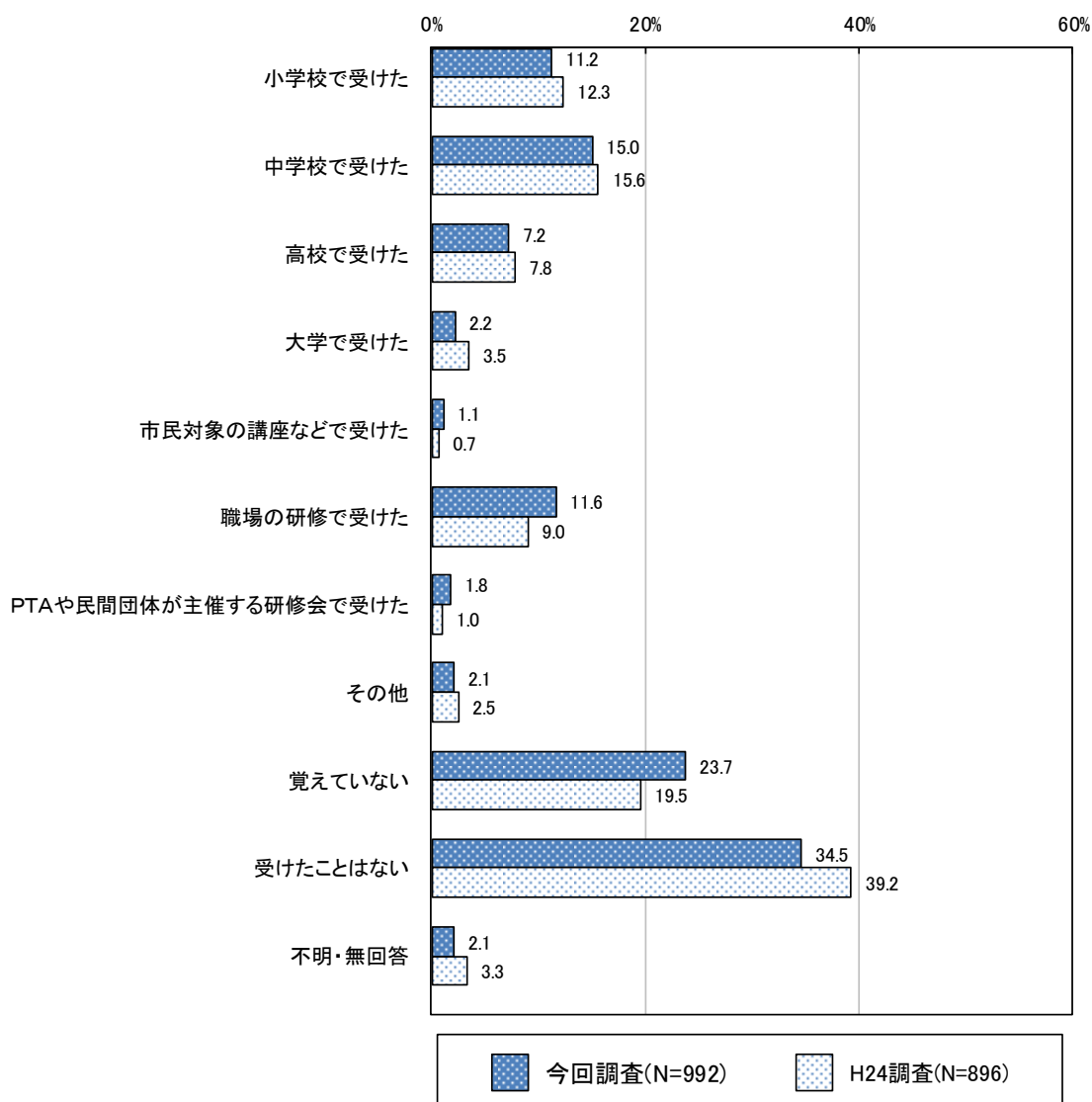
【問 30】あなたは、学校、職場及び地域で同和問題(部落差別)についての教育を受けたり、学習をしたりしたことがありますか。(〇はいくつでも)

■全体と経年比較

学校、職場、地域で同和問題について教育を受けた経験については、「受けたことはない」が34.5%と最も高く、次いで「覚えていない」が23.7%、「中学校で受けた」が15.0%となっている。

H24調査と比較すると、「職場の研修で受けた」は2.6ポイント増となっている。一方、「受けたことはない」は4.7ポイント減となっている。

<複数回答>



■基本属性別

性別では、「職場の研修で受けた」が「男性」が「女性」に比べ、4.6ポイント高くなっている。
年齢別では、「30～39歳」、「40～49歳」で「小学校で受けた」、「中学校で受けた」が比較的高くなっている。

(単位：%)

	回答者数	小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	大学で受けた	市民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	PTAや民間団体が主催する研修会で受けた	その他	覚えていない	受けたことはない	不明・無回答	
全体	992	11.2	15.0	7.2	2.2	1.1	11.6	1.8	2.1	23.7	34.5	2.1	
性別	男性	483	8.9	14.1	7.5	1.7	14.1	2.1	2.5	20.7	36.6	1.9	
	女性	423	12.5	15.8	7.1	2.8	9.5	1.7	1.9	25.3	33.3	2.4	
	不明・無回答	86	17.4	16.3	5.8	2.3	0.0	8.1	1.2	32.6	27.9	2.3	
年齢別	20～29歳	51	7.8	23.5	9.8	5.9	0.0	3.9	2.0	0.0	27.5	25.5	3.9
	30～39歳	100	30.0	23.0	17.0	4.0	0.0	5.0	0.0	3.0	25.0	21.0	1.0
	40～49歳	177	22.6	21.5	6.8	3.4	0.0	9.6	1.1	1.7	25.4	23.7	1.1
	50～59歳	211	10.9	17.1	7.1	1.9	1.4	16.6	1.9	1.4	26.5	32.2	0.9
	60～69歳	214	3.3	11.2	6.5	0.5	1.9	15.0	1.9	2.8	18.7	43.9	0.5
	70歳以上	236	3.0	6.4	3.4	1.7	1.7	10.2	3.0	2.5	22.9	43.6	5.5
職業別	自営業	87	4.6	16.1	10.3	3.4	2.3	8.0	4.6	1.1	19.5	40.2	2.3
	公務員	31	16.1	25.8	16.1	3.2	0.0	19.4	0.0	0.0	29.0	19.4	0.0
	教員	22	13.6	22.7	18.2	18.2	4.5	27.3	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
	民間企業・団体の経営者、役員	27	7.4	14.8	0.0	3.7	0.0	7.4	3.7	0.0	25.9	37.0	7.4
	民間企業・団体(100人未満)の勤め人	86	12.8	19.8	14.0	1.2	1.2	3.5	0.0	2.3	17.4	47.7	1.2
	民間企業・団体(100人以上)の勤め人	192	17.7	20.8	5.7	1.6	0.0	15.1	0.5	2.6	26.6	23.4	1.6
	臨時雇、パート、派遣	147	17.0	14.3	6.1	2.0	1.4	9.5	1.4	1.4	26.5	28.6	1.4
	その他の有業者	14	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	28.6	7.1	0.0	7.1	35.7	0.0
	家事専業	133	7.5	13.5	6.0	3.8	2.3	8.3	0.8	3.0	27.1	36.1	1.5
	学生	11	27.3	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0
	無職(求職中や定年後を含む)	212	4.2	7.1	3.8	0.0	0.9	13.2	2.8	2.8	23.1	44.8	4.2
その他	23	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0	17.4	4.3	4.3	30.4	26.1	0.0	
地域別	名古屋地域(名古屋市)	334	12.3	15.3	7.8	3.6	1.5	10.5	2.4	2.4	22.2	35.9	3.0
	尾張地域	348	14.9	15.2	6.9	1.4	1.1	11.2	1.7	2.6	24.1	31.9	1.1
	西三河地域	171	7.6	14.6	7.6	1.2	0.6	15.8	0.0	0.6	22.2	35.1	2.3
	東三河地域	122	3.3	13.9	6.6	2.5	0.8	9.8	3.3	1.6	27.9	37.7	2.5

※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

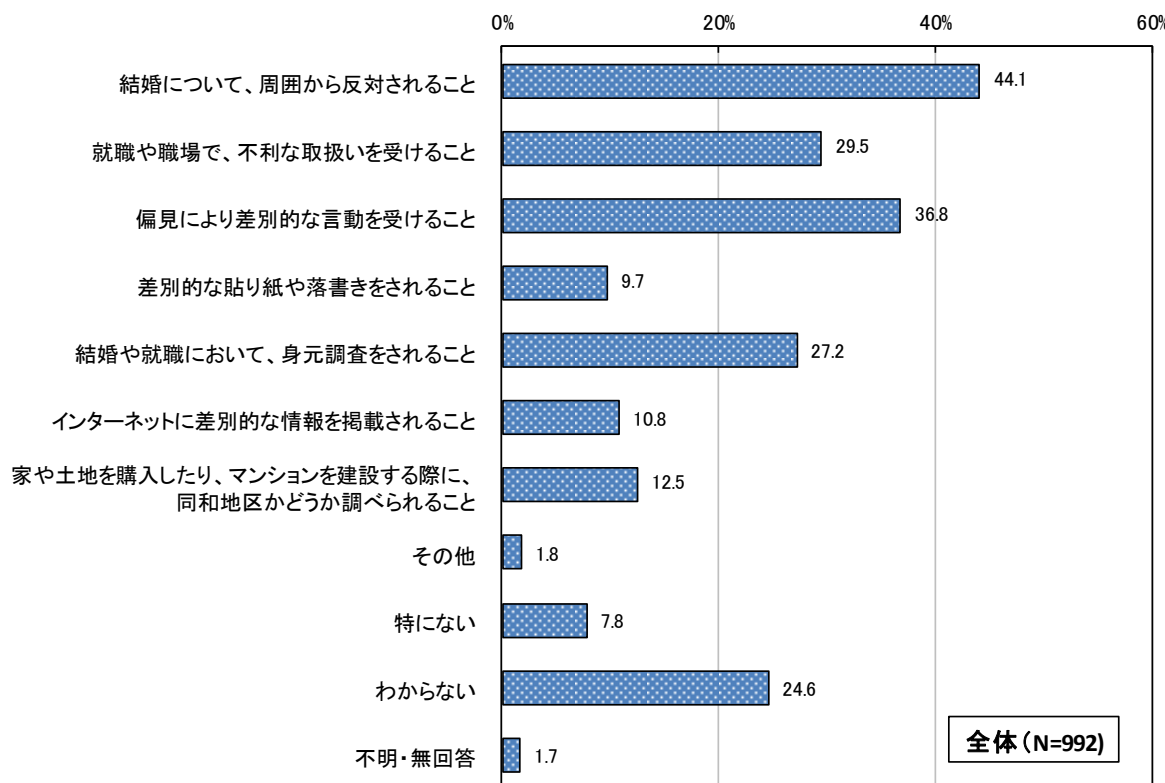
問26で「1. 知っている」と回答した人への設問

【問 31】 同和問題(部落差別)について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

■全体

同和問題に関して特に問題となっていると思うことについては、「結婚について、周囲から反対されること」が44.1%と最も高く、次いで「偏見により差別的な言動を受けること」が36.8%、「就職や職場で、不利な取扱いを受けること」が29.5%となっている。

<複数回答>



■基本属性別

性別、年齢別では、いずれにおいても「結婚について、周囲から反対されること」が最も高くなっている。また、年齢別では「インターネットに差別的な情報を掲載されること」は年齢が下がるにつれて高くなっている。

(単位:%)

	回答者数	結婚について、周囲から反対されること	就職や職場で、不利な取扱いを受けること	偏見により差別的な言動を受けること	差別的な貼り紙や落書きをされること	結婚や就職において、身元調査をされること	インターネットに差別的な情報を掲載されること	家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうか調べられること	その他	特になし	わからない	不明・無回答	
全体	992	44.1	29.5	36.8	9.7	27.2	10.8	12.5	1.8	7.8	24.6	1.7	
性別	男性	483	41.8	29.2	36.6	9.7	27.1	11.6	2.7	9.5	21.7	1.7	
	女性	423	47.5	29.8	37.6	9.5	27.2	10.6	1.2	6.4	25.3	1.7	
	不明・無回答	86	39.5	30.2	33.7	10.5	27.9	7.0	12.8	0.0	4.7	37.2	2.3
年齢別	20～29歳	51	37.3	21.6	25.5	7.8	17.6	19.6	11.8	2.0	3.9	33.3	2.0
	30～39歳	100	42.0	42.0	38.0	16.0	25.0	16.0	19.0	4.0	5.0	24.0	1.0
	40～49歳	177	44.6	32.8	43.5	16.9	31.6	15.8	15.3	2.8	7.3	22.0	0.0
	50～59歳	211	45.5	30.3	43.1	11.8	26.1	14.2	13.3	1.4	6.6	24.6	0.0
	60～69歳	214	50.0	32.2	34.6	5.6	29.0	5.6	8.4	0.5	8.4	22.4	0.9
	70歳以上	236	39.0	19.9	30.5	3.8	26.3	4.7	11.0	1.7	10.6	26.7	5.5
職業別	自営業	87	48.3	31.0	32.2	12.6	26.4	16.1	12.6	2.3	10.3	25.3	1.1
	公務員	31	58.1	51.6	41.9	3.2	29.0	12.9	32.3	3.2	9.7	6.5	0.0
	教員	22	45.5	45.5	40.9	13.6	22.7	18.2	27.3	0.0	4.5	27.3	0.0
	民間企業・団体の経営者、役員	27	33.3	22.2	37.0	7.4	18.5	3.7	0.0	0.0	11.1	33.3	3.7
	民間企業・団体(100人未満)の勤め人	86	43.0	30.2	34.9	10.5	30.2	11.6	8.1	3.5	8.1	26.7	0.0
	民間企業・団体(100人以上)の勤め人	192	46.4	31.8	40.1	14.1	29.7	15.6	14.1	2.1	7.8	19.8	1.0
	臨時雇、パート、派遣	147	43.5	29.3	34.7	12.2	25.9	8.8	10.2	1.4	7.5	24.5	0.7
	その他の有業者	14	57.1	28.6	64.3	7.1	57.1	7.1	28.6	7.1	7.1	14.3	0.0
	家事専業	133	45.9	25.6	33.1	6.8	23.3	9.8	7.5	0.0	6.8	27.8	0.8
	学生	11	45.5	54.5	27.3	9.1	27.3	9.1	27.3	9.1	0.0	36.4	0.0
	無職(求職中や定年後を含む)	212	40.1	25.0	37.3	5.2	26.4	6.1	13.2	1.9	7.5	26.4	4.7
その他	23	30.4	21.7	47.8	13.0	34.8	13.0	13.0	0.0	0.0	34.8	0.0	
地域別	名古屋地域(名古屋市)	334	45.8	28.7	36.2	9.9	28.1	11.4	13.5	2.7	8.4	23.7	1.5
	尾張地域	348	42.8	30.2	32.8	8.3	27.6	7.5	13.8	0.9	7.2	27.3	2.0
	西三河地域	171	40.4	28.7	43.3	13.5	29.8	15.8	11.7	3.5	7.6	24.6	1.2
	東三河地域	122	47.5	30.3	40.2	9.0	21.3	13.1	8.2	0.0	6.6	19.7	2.5

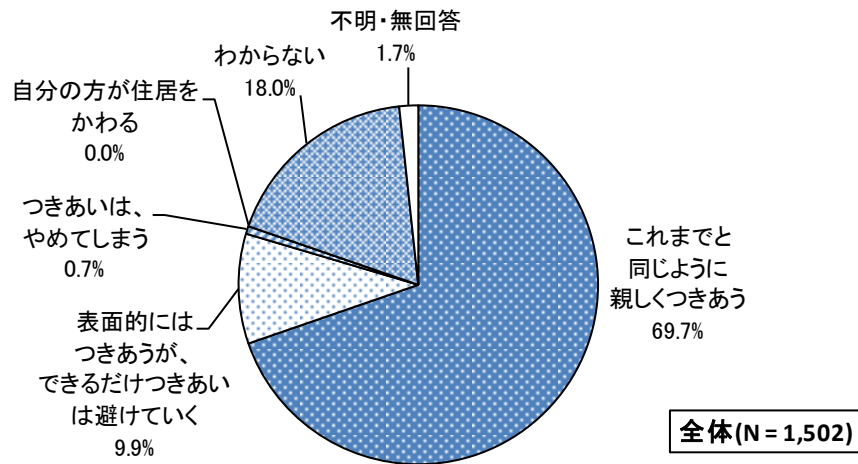
※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

【問 32】 仮に、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(〇は1つ)

■全体

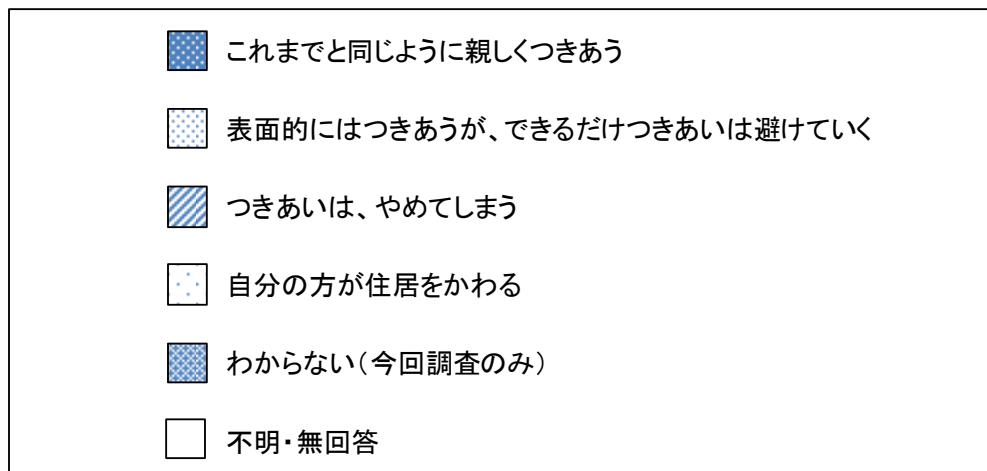
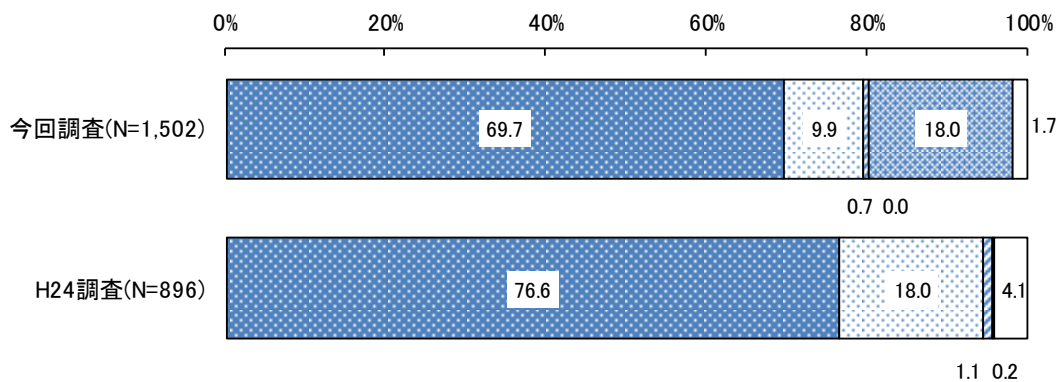
身近な人が同和地区の人であるとわかった場合の対応については、「これまでと同じように親しくつきあう」が69.7%と最も高く、次いで「わからない」が18.0%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」が9.9%となっている。

<単一回答>



■経年比較

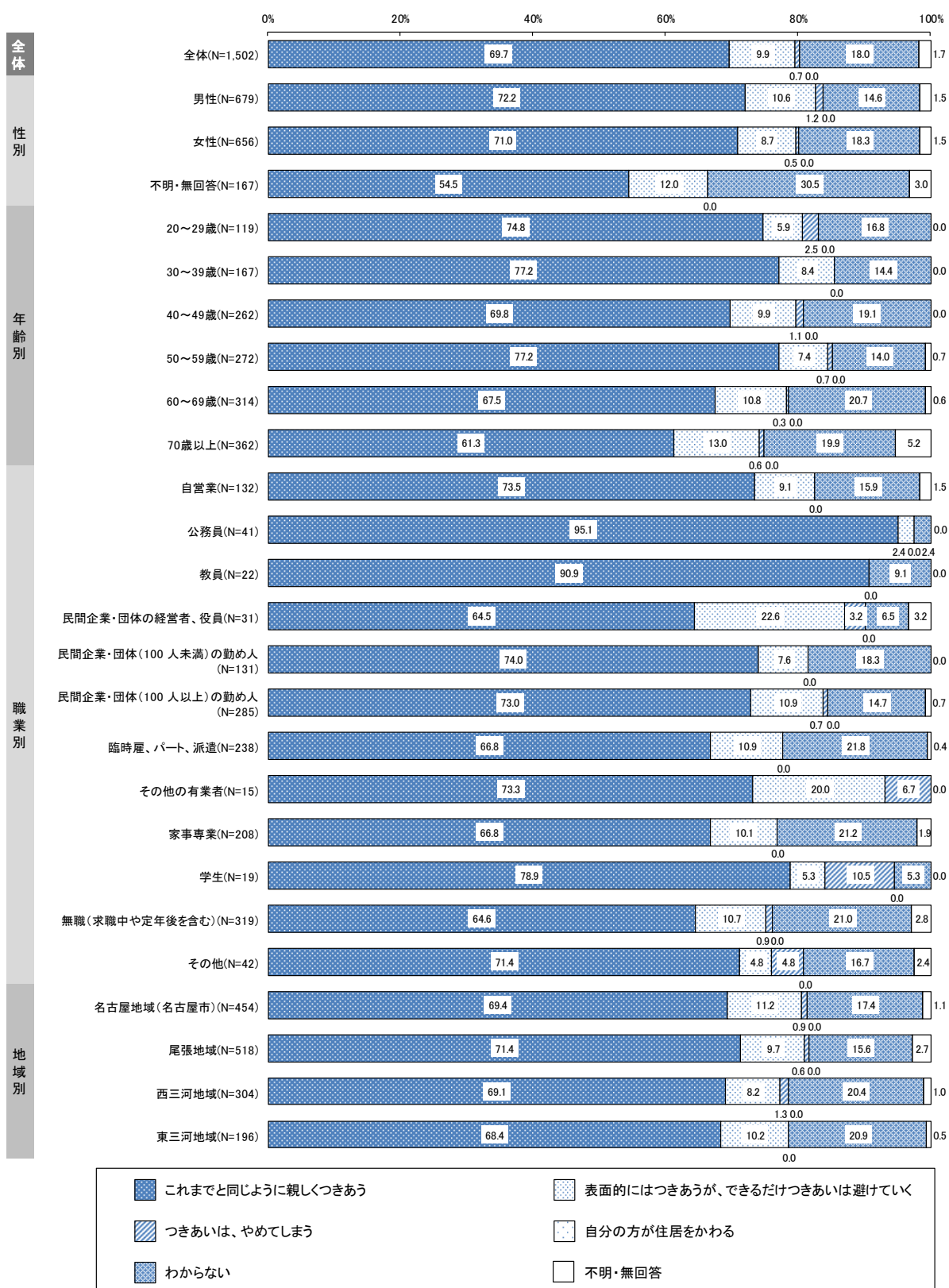
H24 調査と比較すると、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」は8.1ポイント減、「これまでと同じように親しくつきあう」は6.9ポイント減となっている。今回初めて設けた「わからない」は18.0%となっている。



■基本属性別

身近な人が同和地区の人であるとわかった場合に「これまでと同じように親しくつきあう」と回答した人について、年齢別では「70歳以上」が61.3%と比較的低くなっている。

職業別では、「公務員」、及び「教員」が9割を超え、高くなっている。



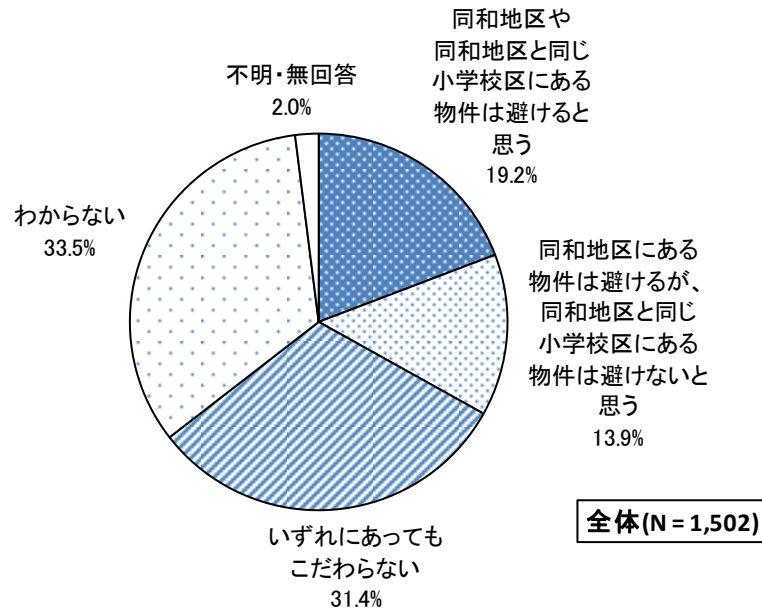
※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

【問 33】あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けることがありますか。(〇は1つ)

■全体

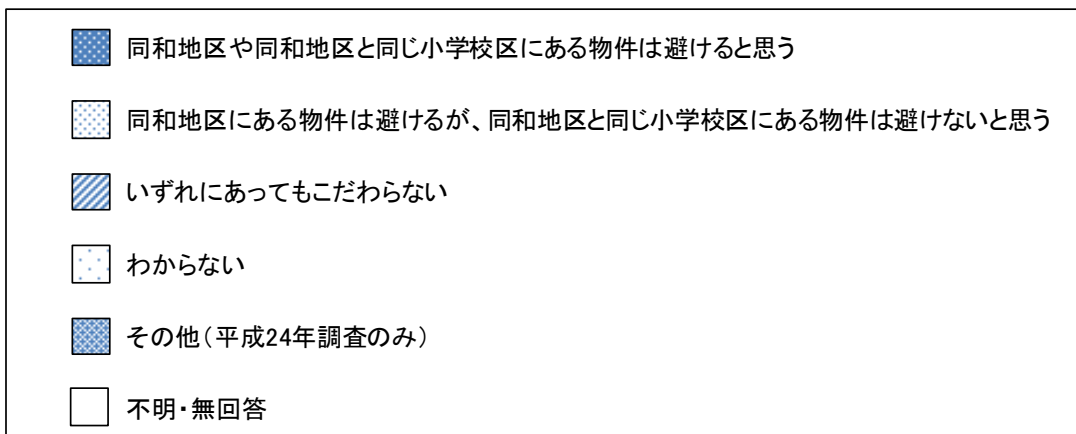
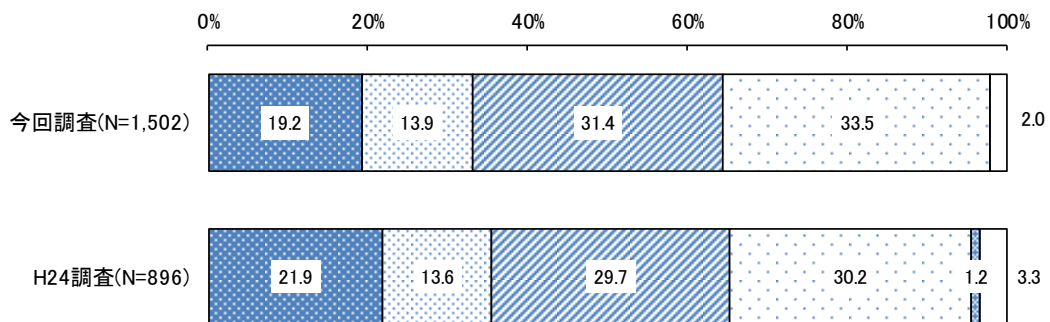
住む場所を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けるかについては、「わからない」が33.5%と最も高く、次いで、「いずれにあってもこだわらない」が31.4%、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」が19.2%、「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」が13.9%となっている。

<単一回答>



■経年比較

H24 調査と比較すると、「わからない」は3.3ポイント増となっている。一方、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は2.7ポイント減となっている。

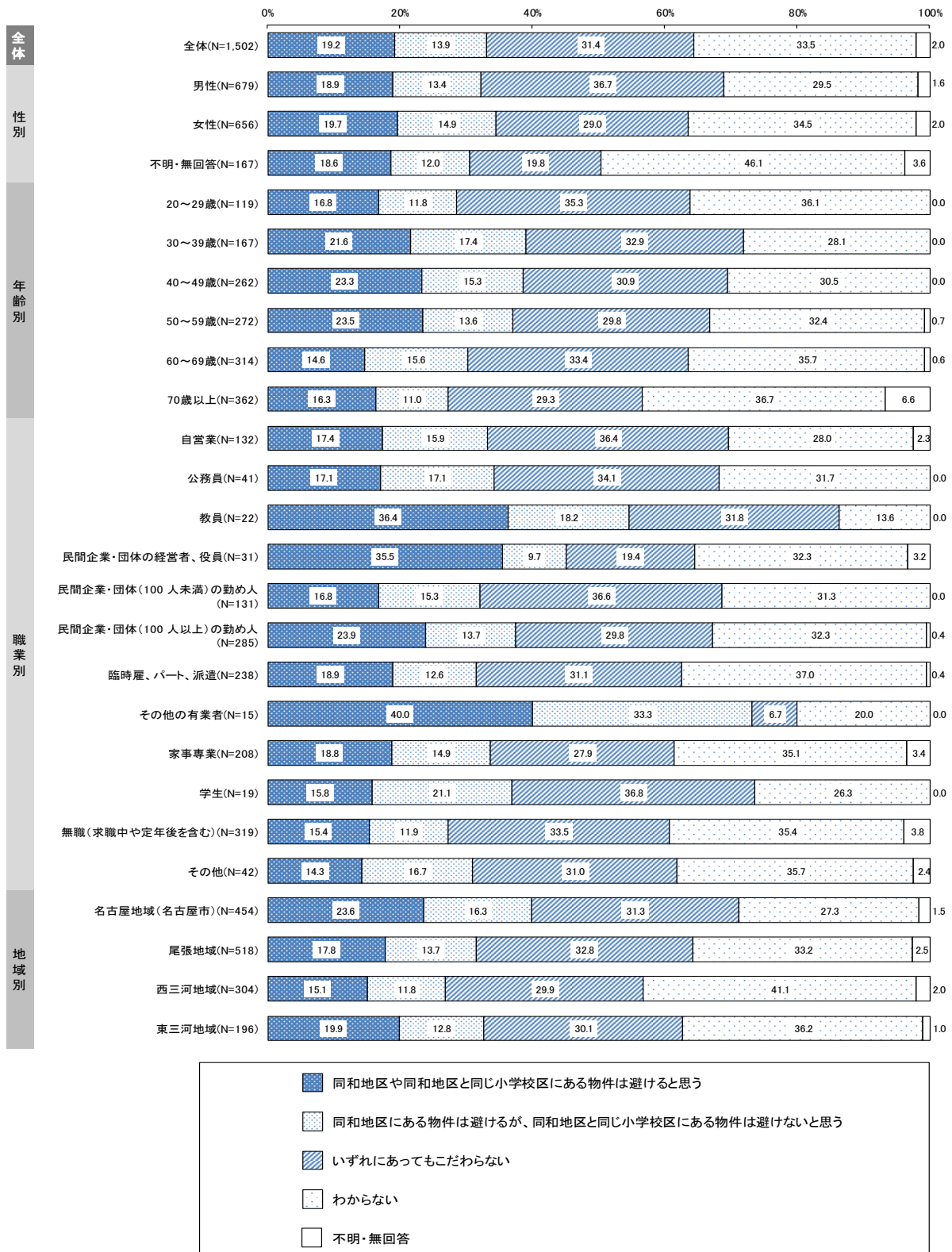


■基本属性別

性別では、「いずれにあってもこだわらない」は「男性」が「女性」に比べ7.7ポイント高くなっている。

年齢別では、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」で比較的高くなっている。

地域別では、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は「名古屋地域（名古屋市）」で比較的高くなっている。



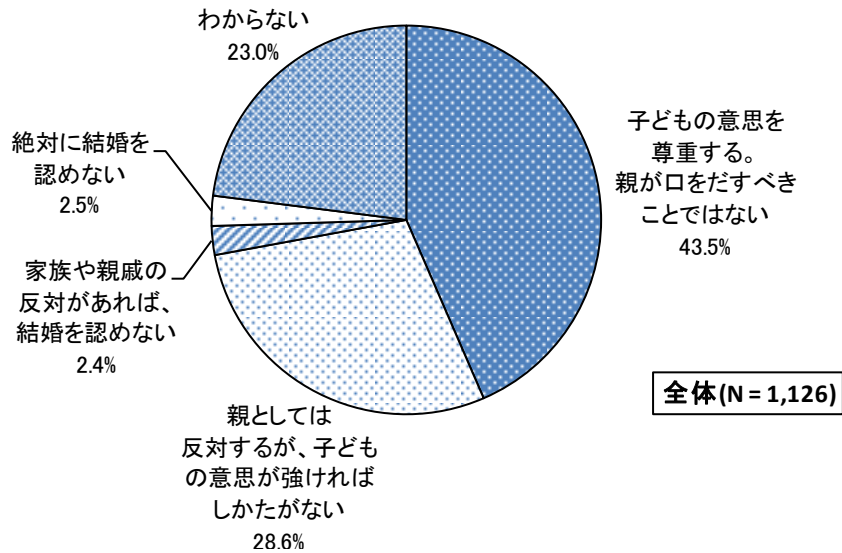
※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

【問 34】あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)

■全体

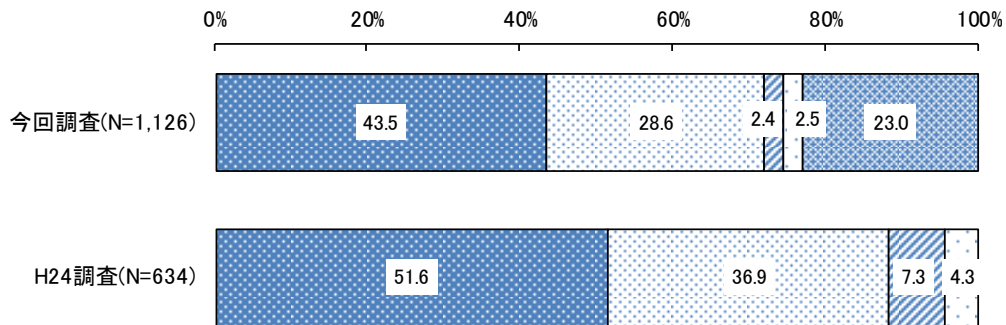
子どもの結婚相手が同和地区の人である場合の対応については、「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」が43.5%と最も高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない」が28.6%、「わからない」が23.0%となっている。






<単一回答>



■経年比較

H24 調査と比較すると、「親としては反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない」は8.3ポイント減、「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」は8.1ポイント減となっている。今回初めて設けた「わからない」は23.0%となっている。

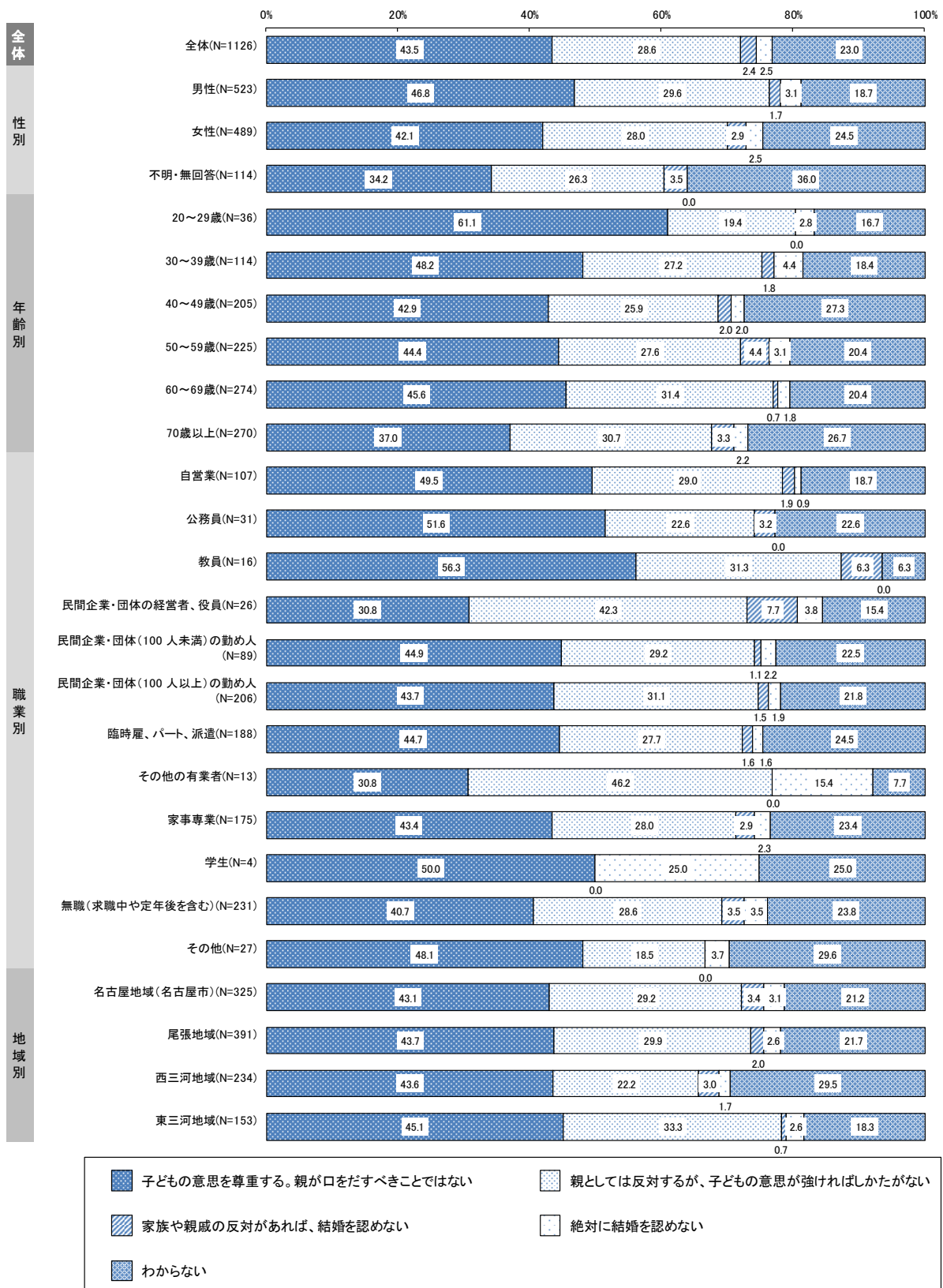


-  子どもを尊重する。親が口をだすべきことではない
-  親としては反対するが、子どもの意思が強ければしかたがない
-  家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない
-  絶対に結婚を認めない
-  わからない(今回調査のみ)

■基本属性別

子どもの結婚相手が同和地区の人である場合に「子どもの意思を尊重する。親が口をだすべきことではない」と回答した人について、性別では「男性」が「女性」に比べ4.7ポイント高くなっている。

年齢別では、「20～29歳」が61.1%と過半数を占め、特に高くなっている。一方、「70歳以上」では37.0%と比較的低くなっている。



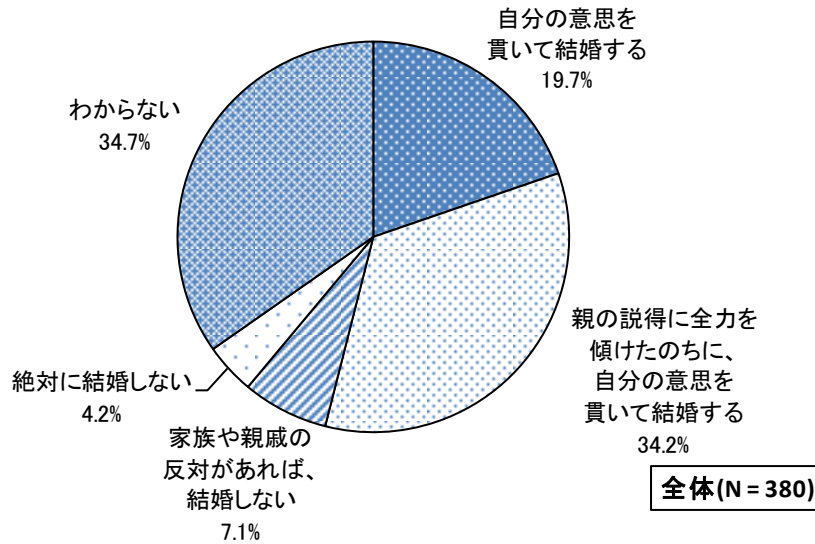
※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

【問 35】あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。(〇は1つ)

■全体

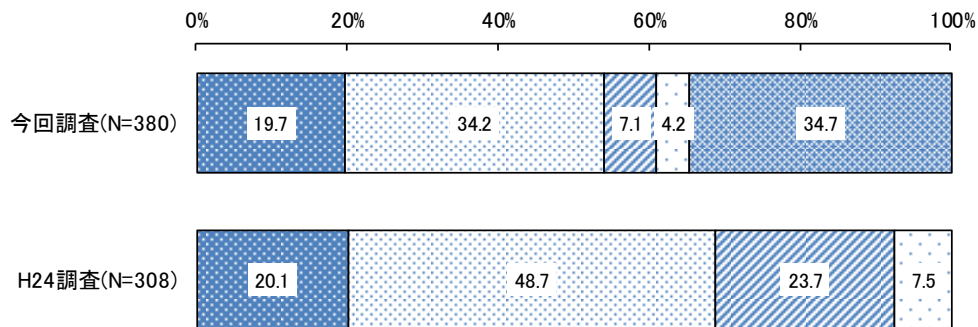
同和地区の人との結婚に際して親族から強く反対された場合の対応については、「わからない」が34.7%と最も高く、次いで「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」が34.2%、「自分の意思を貫いて結婚する」が19.7%となっている。

<単一回答>



■経年比較

H24 調査と比較すると、「家族や親戚の反対があれば、結婚しない」は16.6ポイント減、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」は14.5ポイント減、「絶対に結婚しない」が3.3ポイント減となっている。今回初めて設けた「わからない」は34.7%となっている。



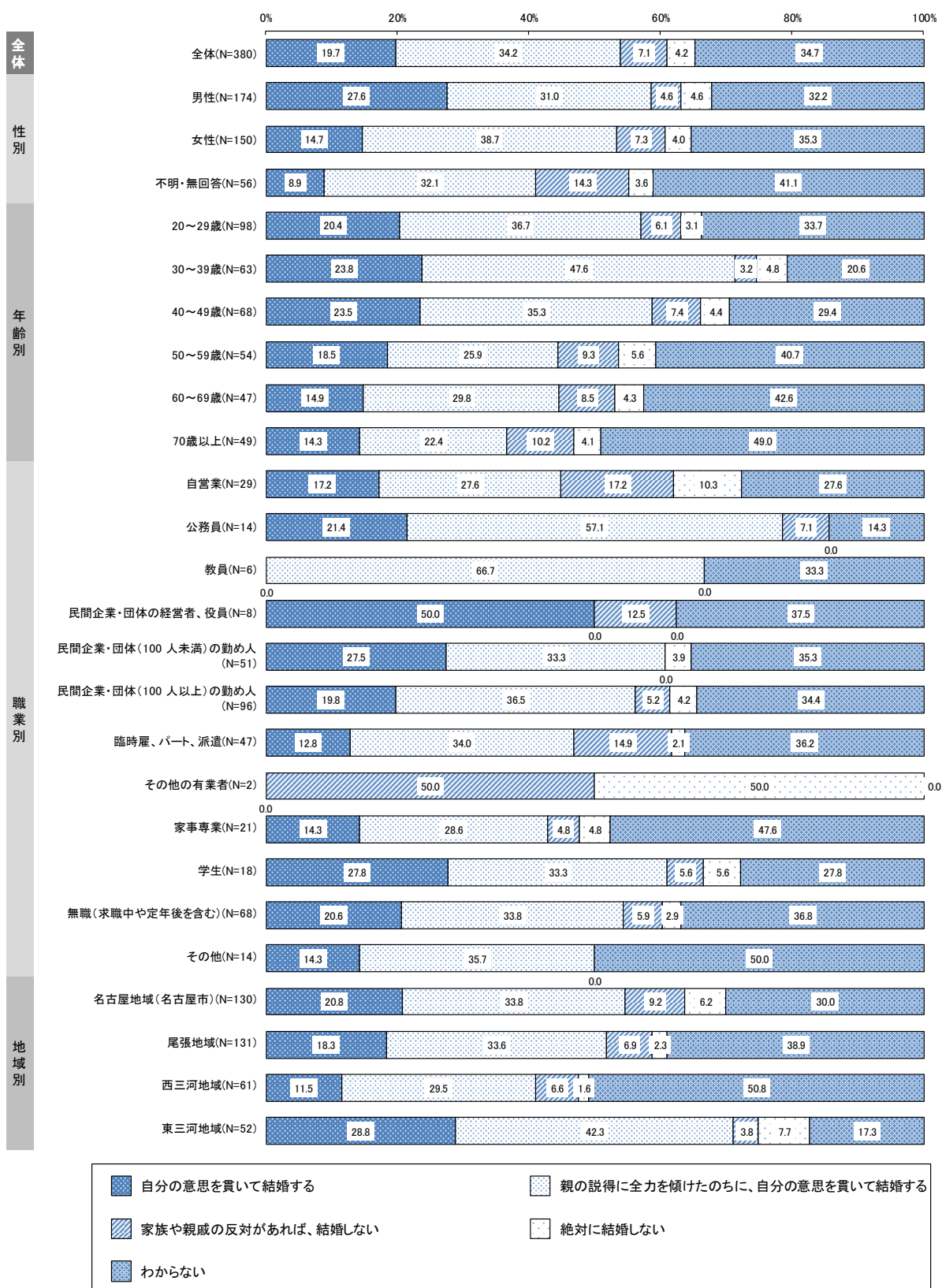
- 自分の意思を貫いて結婚する
- 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する
- 家族や親戚の反対があれば、結婚しない
- 絶対に結婚しない
- わからない(今回調査のみ)

■基本属性別

同和地区の人との結婚に際して親族から強く反対された場合に「自分の意思を貫いて結婚する」と回答した人について、性別では「男性」が「女性」に比べ12.9ポイント高くなっている。

年齢別では、40歳代以下では、「自分の意思を貫いて結婚する」、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意思を貫いて結婚する」の割合が比較的高くなっている。

地域別では、「東三河地域」が28.8%と比較的高くなっている。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者

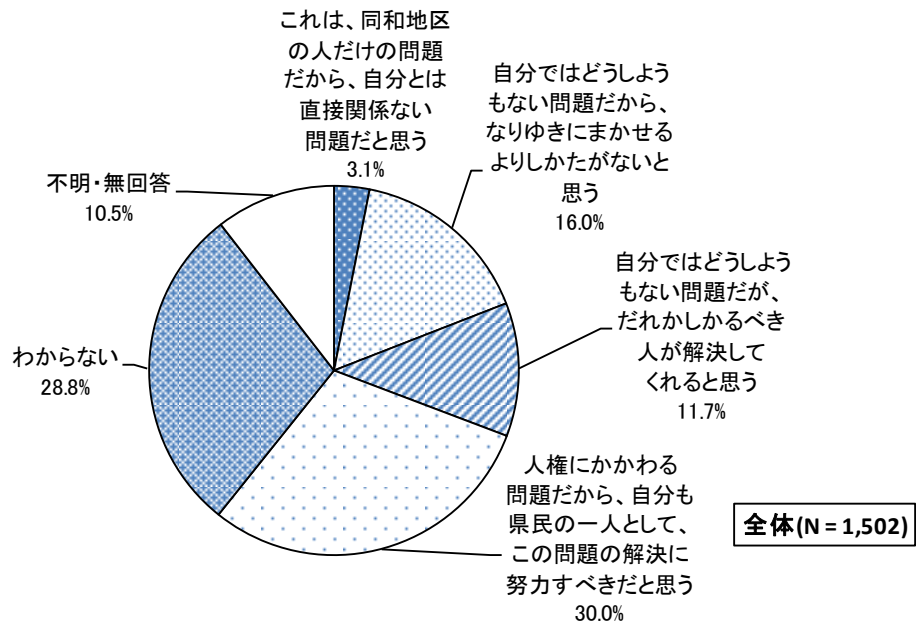
【問 36】 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。

(○は1つ)

■全体

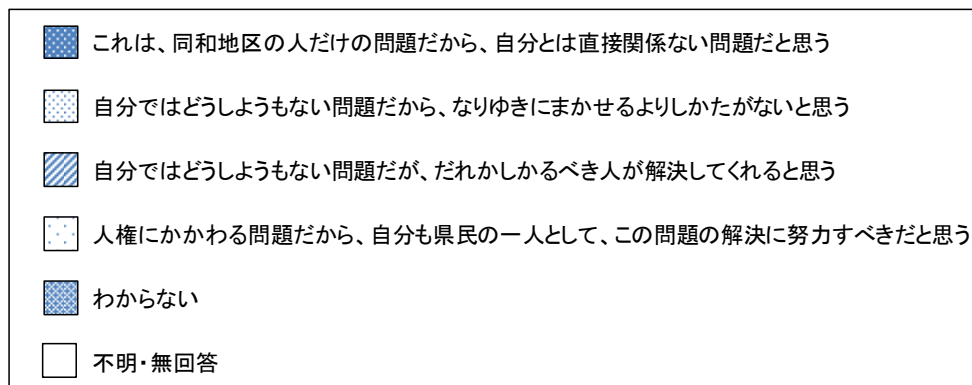
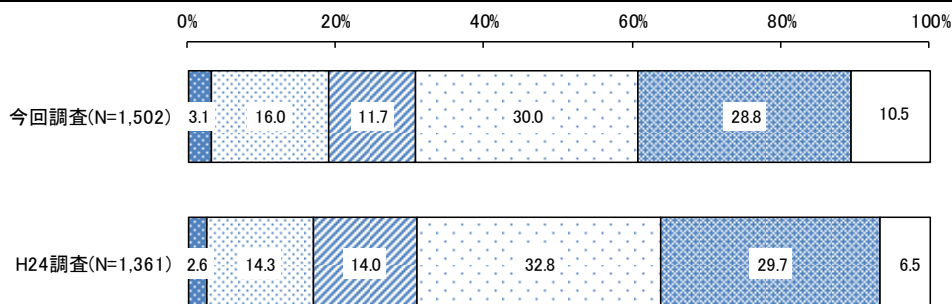
同和問題の解決に対する考えについては、「人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が30.0%と最も高く、次いで「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が16.0%となっている。一方、「わからない」も28.8%と高くなっている。

<単一回答>



■経年比較

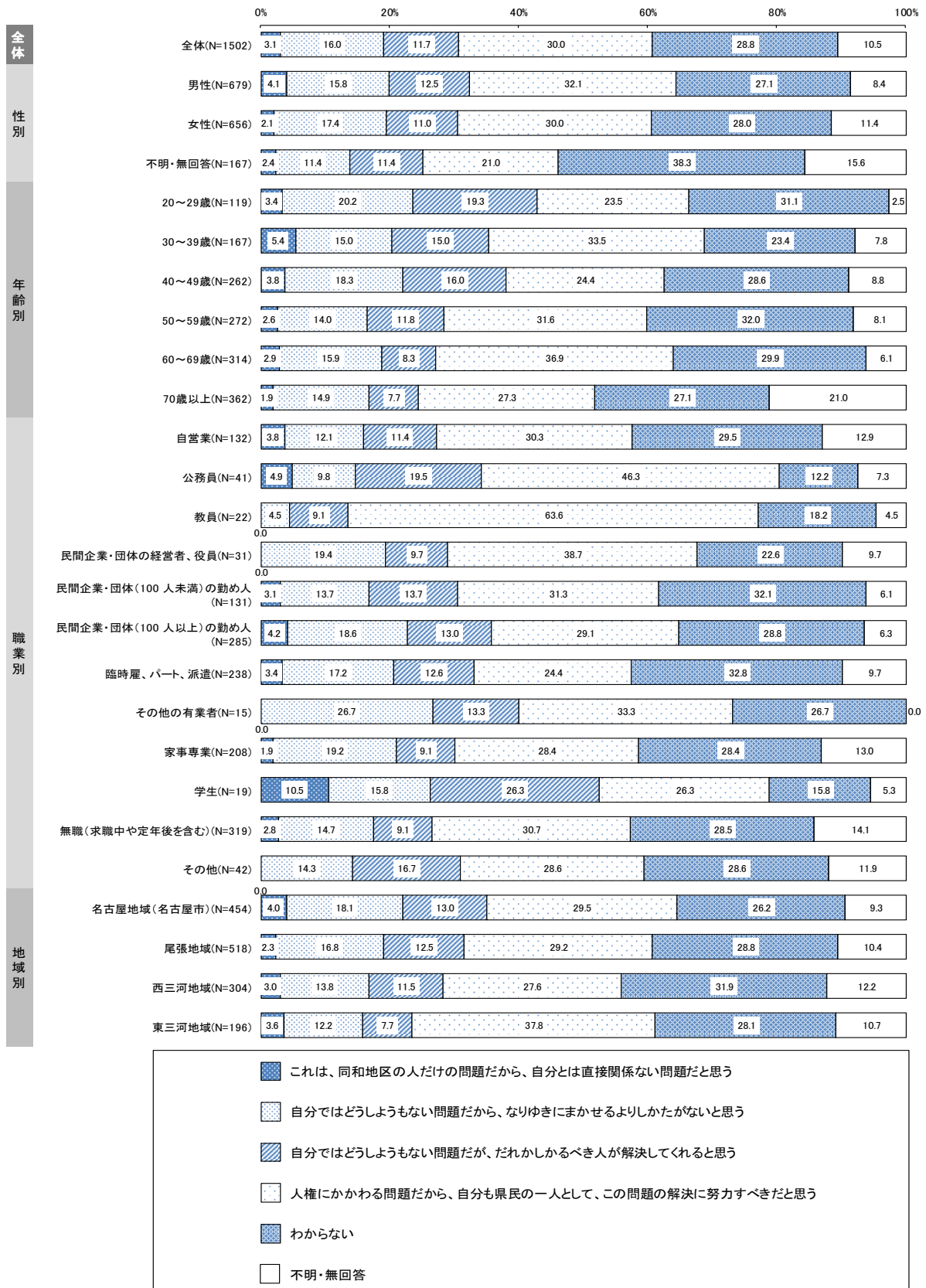
H24 調査と比較すると、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が1.7ポイント増、「人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が2.8ポイント減、「自分ではどうしようもない問題だが、だれかしかるべき人が解決してくれると思う」が2.3ポイント減となっている。



■基本属性別

同和問題の解決に対し「人権にかかわる問題だから、自分も県民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」と回答した人について、年齢別では「30～39歳」、「50～59歳」、及び「60～69歳」では3割を超えて、比較的高くなっている。

地域別では、「東三河地域」が37.8%と比較的高くなっている。



※【職業別】の自営業は、農林、商工サービス、建設業などの事業主及び家族従事者